

2005年6月27日 一般質問要旨

1 学研高山第2工区について (企画部長)

(1) 「関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会」の提言には、研究開発型産業施設や生産施設の立地も図る必要がある旨述べられているが、県の建設計画では、生産施設や工場での土地利用は考えていない。この点について伺いたい。

(2) 高山第2工区の整備を平成25年までに終わるのであれば、南半分から段階的に整備するという考え方に無理がある。現在の状況を積極的に説明すべきと考えるが、都市再生機構との協議状況を伺いたい。

(3) 土地利用について、まちづくりの観点から、都市再生機構が事業計画を作成する段階で、機構、県、市が協力して、市民から意見をもらうことも大切であると考えが所見を伺いたい。

2 介護保険制度について (福祉部長)

(1) 本県における特別養護老人ホームなどの福祉施設を対象とした第三者評価事業の取り組み状況について伺いたい。

(2) 介護報酬の不正請求の状況と指定事業者の取消も含めた行政処分の状況について伺いたい。

(3) 県内市町村の介護保険財政状況はどうか。

また、県は、どのような分析をし、次期介護保険事業計画の策定にどのように対応していくのか併せて伺いたい。

(4) 自殺者の中には、看護や介護疲れなどで将来を悲観したケースが含まれる。今後、ますます高齢化が進み、看護や介護に悩む人の増加が危惧されるが、こうした悩みを抱えた人たちに対して、どう支援していくのか伺いたい。

3 NPOと行政との協働事業について (生活環境部長)

協働事業について、県の全庁的な取り組みを進めていくうえで、県職員の協働に対する認識を十分に深めていくことが、今、求められている課題であると考えが、所見を伺いたい。

4 県立図書館のあり方について (教育長)

(1) 「奈良県子ども読書活動推進計画」には、子どもの読書活動を推進するために、県立図書館が担うべき取り組みが記載されているが、この役割をどのように果たそうとしているのか。具体的な事業例をあげて説明されたい。

(2) 県立図書館の図書蔵書数とこれに占める児童図書数の割合は、どれくらいか。その割合は全国的にみてどれくらいの位置にあるのか。また、県立図書館と市町村立図書館の役割分担について、子どもの図書資料の蔵書計画を含めて、所見を伺いたい。

5 子どもの学力の傾向に対する調査・分析と取り組みについて (教育長)

本県の子どもの学力の傾向について、どのような調査・分析をし、何を施策として重点化していくのか、子どもにどんな力をつけることが我が国の未来に資するのか、その道筋を明らかにされたい。

6 教科書の採択について (要望)